

別添6-5 (第3の2関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書 (令和2年度)

都道府県名 富山県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 8経営体	13経営体	162%	A	ア. 日本版畜産GAP指導員の育成: 88,000 イ. 生産現場における研修会の開催: 12,580 ウ. 日本版畜産GAPの普及推進: 20,005	ア. 日本版畜産GAP指導員の育成: 88,000 イ. 生産現場における研修会の開催: 12,580 ウ. 日本版畜産GAPの普及推進: 20,005	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証取得経営体 1経営体	0経営体	0%	D	—	—	
<p>事業の成果</p> <p>Iについては、指導員が中心となり、県内の畜産農家および農業高校に対し、畜産GAPに対する理解醸成と普及啓発を実施した。</p> <p>IIについては、令和元年にGAPチャレンジシステム確認農場となった県立中央農業高等学校を対象に、指導員資格を持つ関係機関が連携し、ステータスの維持に取り組んだ結果、令和3年3月10日付で期間延長手続きが完了し、ステータスを維持することができた。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>県内の畜産農家や農業高校に対し、畜産GAPに対する理解を深めるため、個別指導や研修会の開催を実施した。生産者の反応は様々であり、認証取得の意思を示す経営体は少なかった。</p> <p>GAPチャレンジシステムのステータスを保持する県立中央農業高等学校は、将来的にGAP認証を取得する意欲があるため、引き続き指導を実施していく必要がある。</p>							
<p>国による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 4名の指導員更新を行い、指導員は13名(令和2年度末現在)となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。 成果目標のうち畜産GAP等認証の取得拡大については実績がないことから、事業実施主体では令和3年度に目標が達成(畜産GAP認証の取得等経営体数: 1経営体)されるよう農政局へ改善計画を提出済。 							

別添6-5 (第3の2関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書 (令和2年度)

都道府県名 福井県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	15 経営体	15 経営体	100%	A	99,000	99,000	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D	0	0	
<p>事業の成果</p> <p>JGAP 指導員 (家畜・畜産物) 2名の養成を行った。この2名を中心に、各農林総合事務所等の普及指導員と協力して、GAP 認証取得に関心のある農家や GAP の実践による経営改善が必要な農家に対して指導を実施した。指導した農家の GAP の意識は向上したが、GAP 認証審査を受けるレベルまで達する農家はいなかった。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>GAP 認証を取得する農家はなかった。農家が想定している以上に日々の記録やリスク評価に労力がかかり、GAP の取り組みへの当初の意欲がトーンダウンした。現場での具体的な改善事例を示すなど、農家が取り組みやすく GAP に対する意識醸成が図られる指導を継続していくことが重要である。</p>							
<p>国による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2名の指導員が育成により、指導員は4名 (令和2年度末現在) となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。 ・ 成果目標のうち畜産GAP等認証の取得拡大については実績がないことから、事業実施主体では令和3年度に目標が達成 (畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体) されるよう農政局へ改善計画を提出済。 							